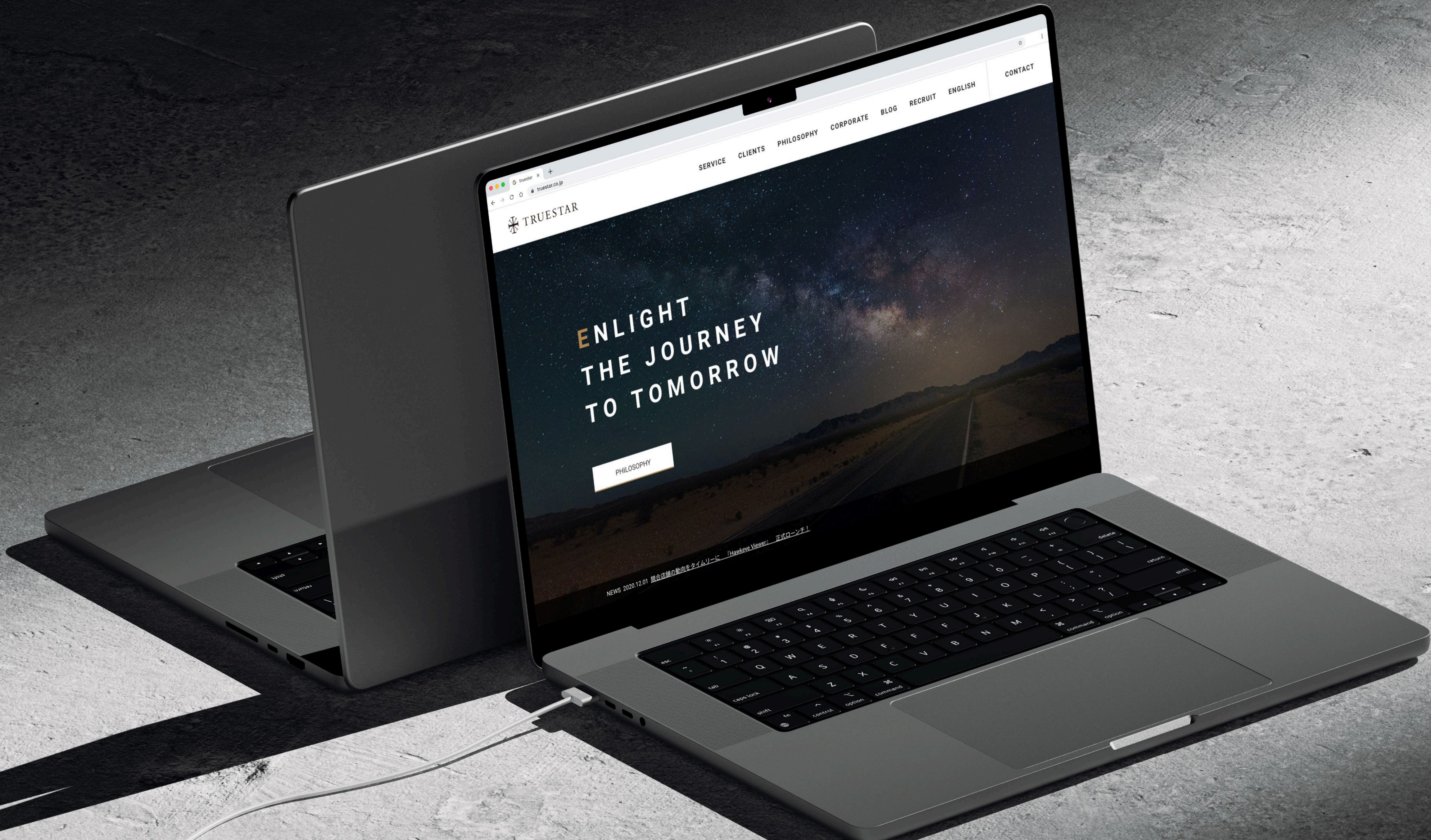


Bactum Inc. is Design Agency.
Brand,UX,Website





TRUESTAR

ENLIGHT THE JOURNEY TO TOMORROW

PHILOSOPHY

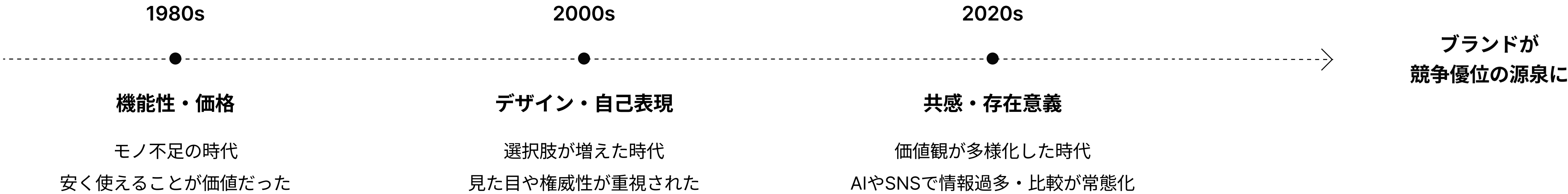
NEWS 2020.12.01 競合店舗の動向をタイムリーに「Hawkeye Viewer」正式ローンチ





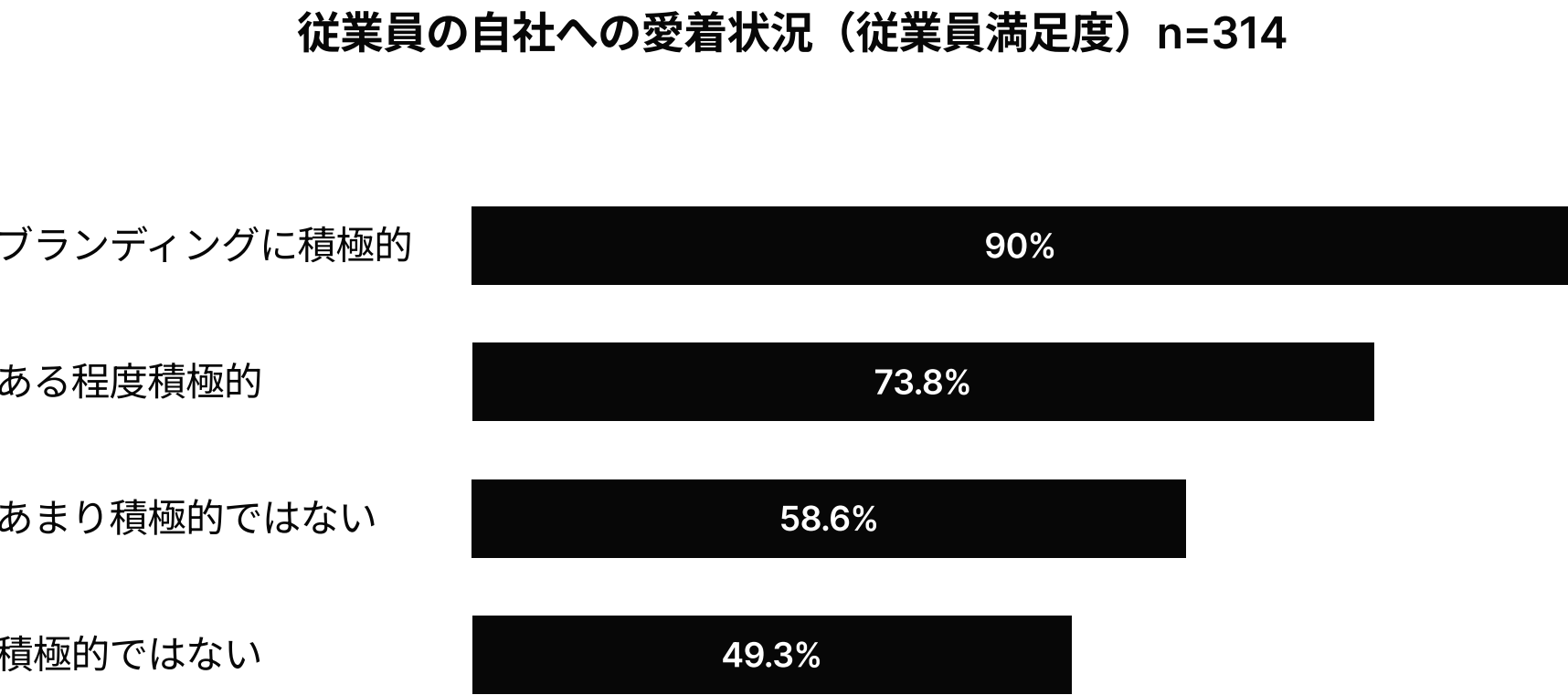
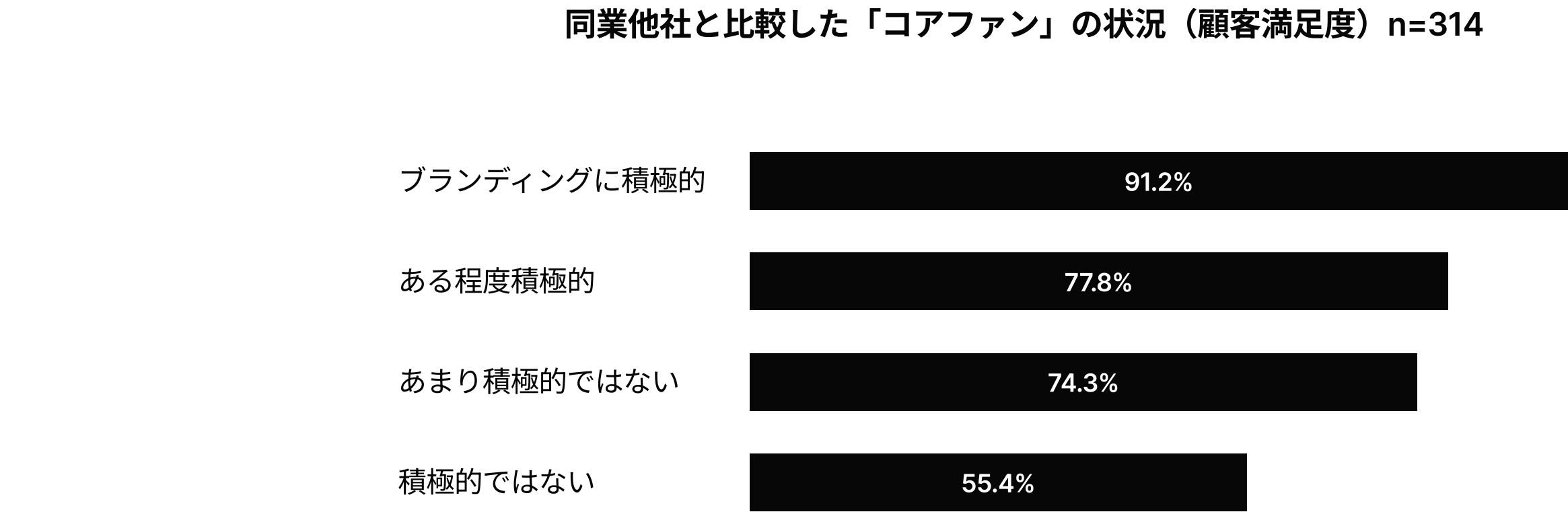
ブランディングが重要視される背景

時代の変化とともに、消費者が企業に求める価値観は大きく変わった。



ブランディングがもたらす数値的影響

積極的な企業ほど、売上が成長し、顧客からも従業員からも愛される。



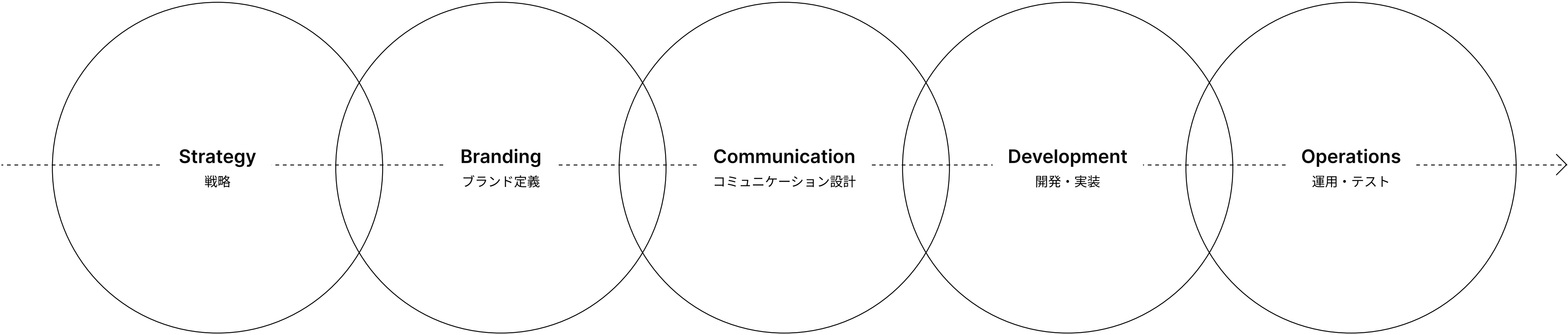
ブランドステージと課題

ブランドがどのステージにいるかで、課題も対策も変わっていく。

	Stage 1 未定義	Stage 2 言語化	Stage 3 構造化	Stage 4 組織浸透	Stage 5 市場定着
	ブランドの価値観や方向性が定義されていない状態。	思想や価値観が言語として整理・共有された状態。	ブランドが仕組みやルールとして構造化された状態。	ブランドが組織や顧客接点全体に浸透している状態。	ブランドが市場や文化の中に深く定着している状態
認知	狙った層に届かない	発信内容にズレが生まれる	接点ごとに印象が変わる	発信が均一化しやすい	市場変化への対応が遅れる
信用	強みや価値が伝わらない	理念と実態が乖離している	体験品質に差が出る	ブランド運用が形骸化する	成功体験への依存が強まる
組織	判断基準がバラバラ	社内浸透が進まない	部門ごとに解釈が分かれる	組織の統制が難しくなる	思想が固定化しやすい
効率	毎回ゼロから制作している	単発施策が増えていく	更新や運用負荷が増える	維持コストが増加しやすい	変革コストが高くなる

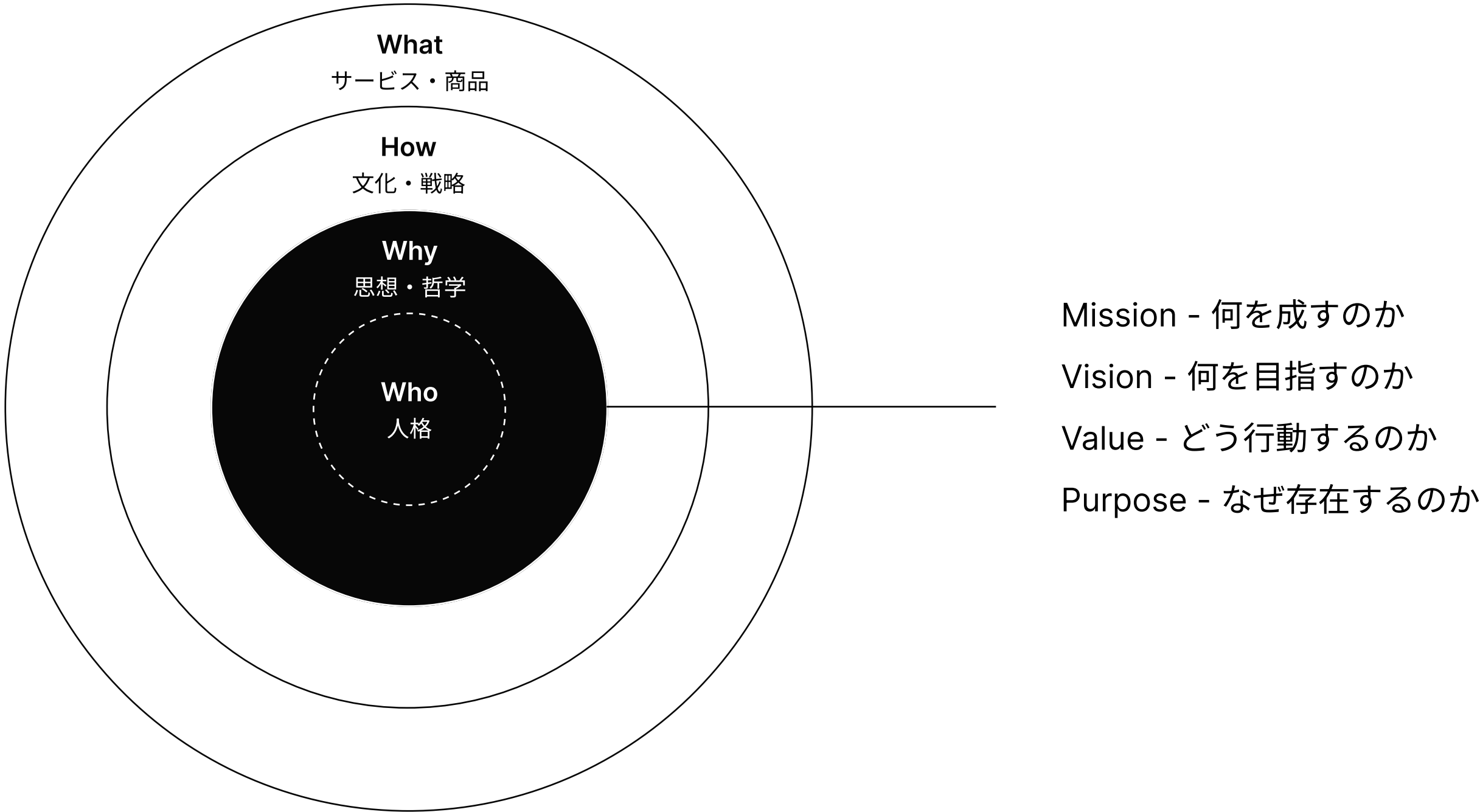
弊社のアプローチ

企業にとって相応しいコミュニケーションツールを作る。



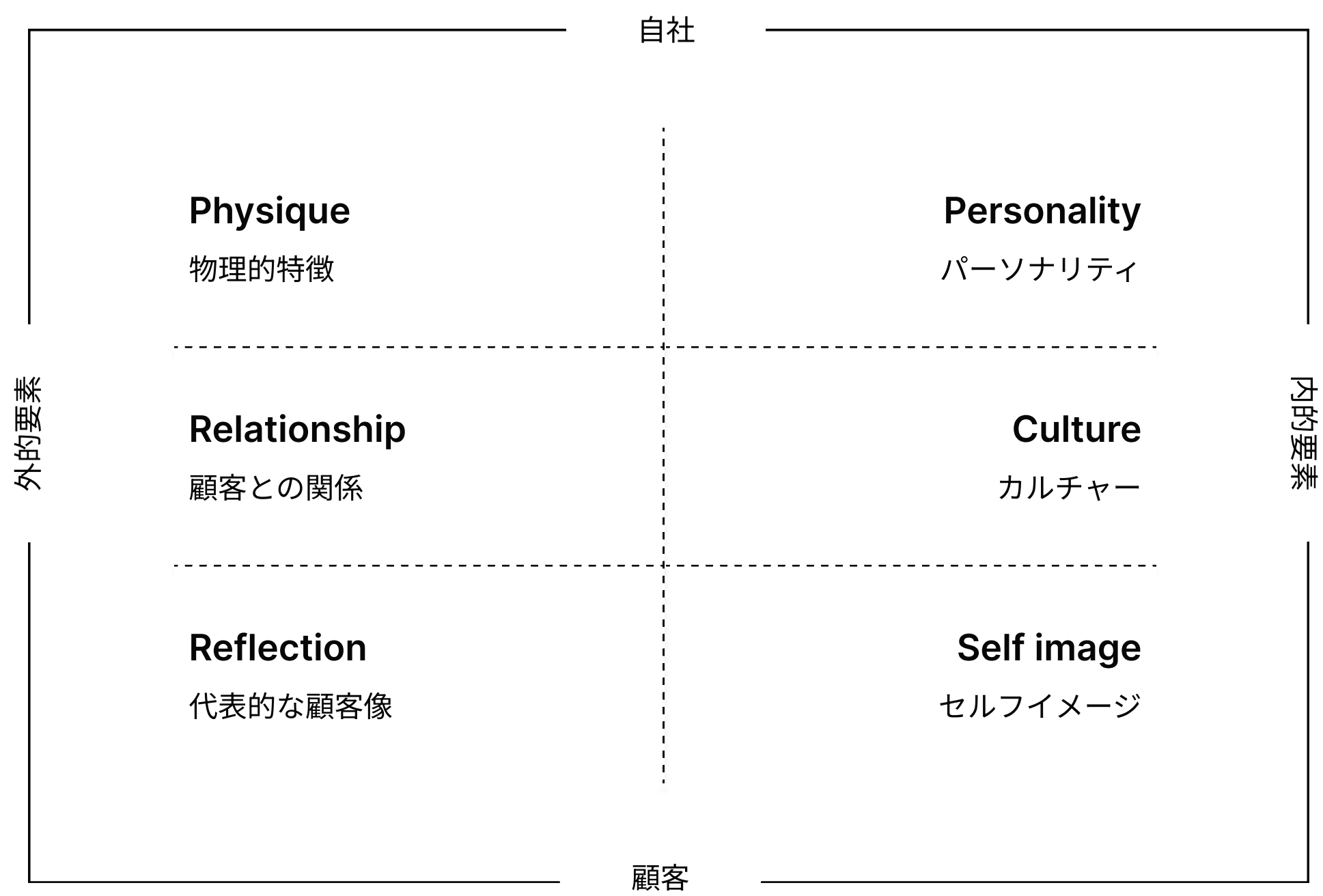
ブランドコアの開発・再定義

「Why」を中心に、共感される価値観軸を築く。



ブランドを構成する要素

具体的に言語化することで、伝えるために必要な「ブランドの文脈」を作る。



デザインシステムの導入

ブランドの一貫性を保ち、破綻しないシンプルなUI設計基準を定義する。

Heading 1 - Noto Sans JP/28

Heading 2 - Noto Sans JP/24

Heading 3 - Noto Sans JP/20

Body, 14, Normal

Body, 14, Medium

Body, 14, Bold

Body, 12, Normal

Body, 12, Medium

Body, 12, Bold

Small, 10, Regular



Primary



Primary.hover



foreground



foreground.muted



border.emphasis



border.default



border.muted



Button



Button



Button



Button



Button



Button



Button



Label



Label



Label



Label

Label

Text

Label

Text

Label

Text

Label

Text

Label

Text

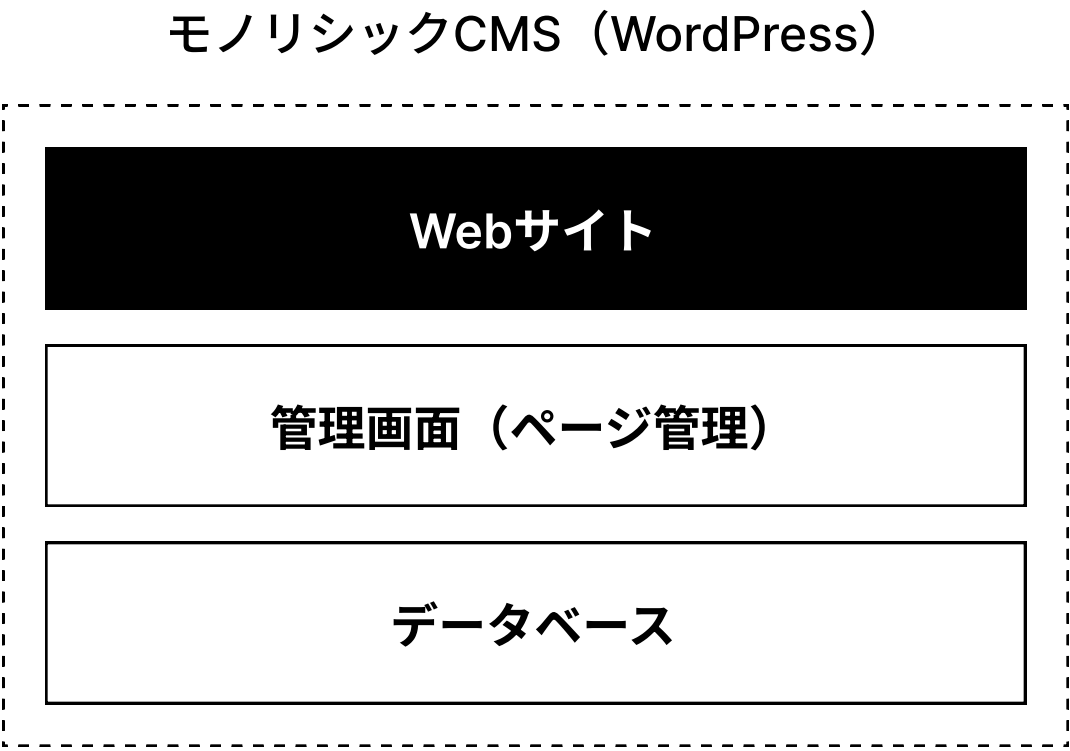
Label

Text

技術思想

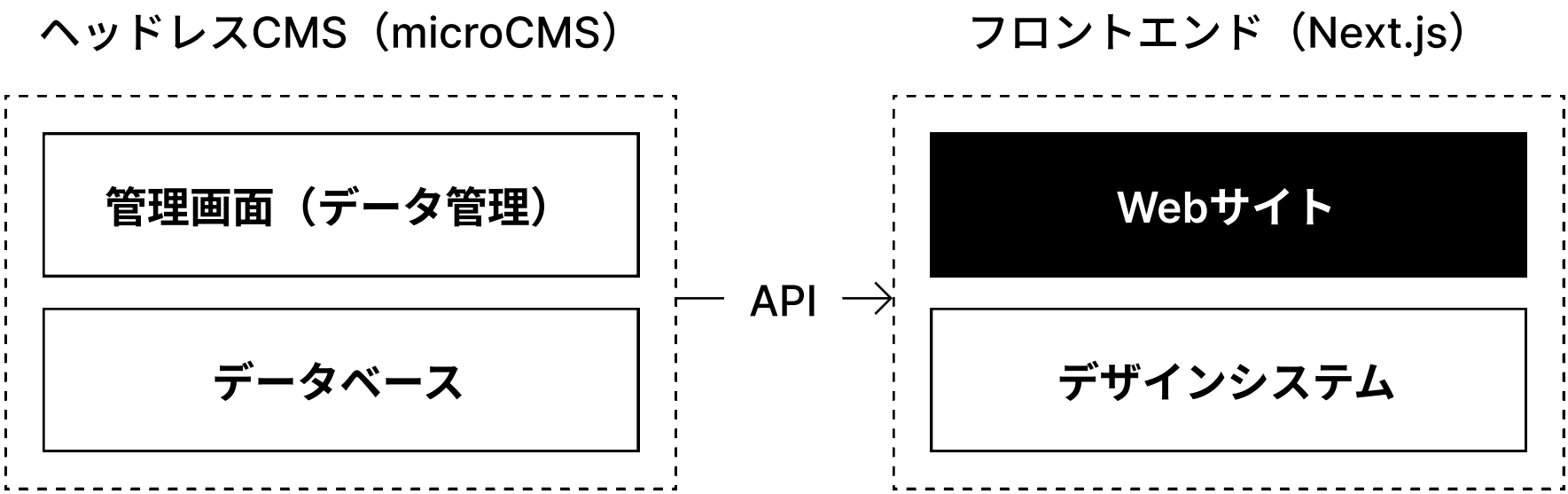
長期的に安全に運用し続けられる構造と、ブランド統制力を同時に実現する。

従来のWeb構築



- 自由度が高く、運用ルールが崩れやすい
- ページや機能の追加で構造が複雑化しやすい
- 長期運用でプラグイン依存が増え、技術負債になりやすい
- 表示速度や安定性が環境依存になりやすい
- セキュリティ対策や更新対応の負荷が継続的に発生する

新しいWeb構築



- コンテンツ構造を制約でき、ブランドルールを維持しやすい
- コンテンツを部品化でき、再利用性と制作効率が高い
- Web・採用・営業資料など複数チャンネルへ展開できる
- フロントエンド最適化により高速で安定した表示が可能
- CMSと表示を分離することでセキュリティリスクを抑えやすい